



乳児棟で「豆まき」を実施！～「鬼」が先生だと分からず、逃げ回ったり泣き出したりする子も！～



2日(火)の節分の日、乳児棟では「豆まき」を行いました。10時30分頃から、鬼役の「裕子先生と恵美先生」が各クラスに突然侵入するところから始まりました。2人とも自前の「鬼のお面、衣装グッズ」を身につけているので、子ども達には「いつもの優しい先生」だとは分かりません。



初めは「いちご組」のお部屋です。子ども達は先生と一緒に作った「お面」をつけています。先生が画用紙を切り抜き「鬼の顔」を作りました。頭の部分に、子ども達が丸めた「花紙」を、「鬼の髪の毛」に見たてて貼り付け、目と口をマジックで書き「鬼のお面」の出来上がりです。

「豆入れ」は色画用紙に鬼のお面を貼り付けて作りました。お面の中の「目・鼻・口」は子ども達がクレヨンで描いたものです。0歳児クラスなのに「スゴイ！」と感じました。

「いちご組」のクラスなので、子ども達も誰が侵入してきたのかは理解できていません。先生が「ア、鬼さんだー！鬼さんが来た！」と言うと、子ども達も鬼に注目します。「鬼さん」役の先生たちも、0歳児クラスということもあり、静かに入っていきます。しかし子ども達の反応は素早く、一人の子が泣き出すと、一斉に泣いてしまいました。ボールを鬼に投げつけるはずだったのですが、怖がって先生に抱きつく子も。これには困った「鬼さん」。すぐに、「バイバイ」と、退散しました。



次は「バナナ組」のお部屋です。バナナ組でも1月に入り「鬼のお面、豆入れ」づくりをしました。お面は、先生方が色画用紙を円く切ったものをもとにしました。子ども達は、先生方が作った「目・鼻・口」のパーツをお面に貼り付けました。好みに貼り付けたので、いろいろな表情の「赤鬼・青鬼」が出来上がりました。豆入れも色画用紙を2つに折り、袋状にしたものの上に「ちぎった折り紙」を貼って、鬼のパンツ風のデザインにしました。面白いアイデアだと思いました。

ドアが開けられ、2人の鬼がお部屋に登場しました。すると、その異様な顔にビックリしたのか、子ども達が急に泣き出してしまいました。鬼が近づいてくると、怖がって先生にしがみつきます。鬼が部屋の中に入ると、奥へ奥へと逃げ出す子も。ほぼ全員が泣きながら逃げ惑っています。しかし、鬼に少し慣れてきた子は、床の上に事前に準備していた「新聞紙を丸めて作った豆」を、先生達と一緒に鬼目がけて投げることができました(3~4名の子)。これには鬼も驚いて倒れ込んでしまいました。しばらくして鬼は、泣いている子を見ながら申し訳なさそうに部屋を後にしました。



最後は「メロン組」のお部屋です。メロン組でも事前に自分たちで「お面や豆入れ」を製作しました。顔になる土台は、工作用紙を先生方が円く切ったものです。そこに、先生方が作った「眉毛・目・鼻・キバ」などの顔のパーツを貼り付けました。また、髪の毛は花紙を丸めたものを子ども達が貼りました。豆入れは牛乳パックを基にして製作しました。外側に色画用紙を貼り、段ボールスタンプで模様をつけました。また、ペンで「鬼の顔」を描き入れました。2歳児クラスとは思えないほど上手に描かれていて、「これはスゴイ」と感じました。

突然、入口のドアが開き「赤鬼・青鬼」が登場しました。先生が「鬼さんが来たよ！」と言うと、子ども達の中には、ビックリして後ずさりをする子も。また、怖がって先生にしがみついて離れない子も。しかし、鬼に捕まった子が「新聞紙で作った豆」を鬼目がけて投げると、鬼が嫌がりました。それを見て、先生たちの「鬼をやっつけちゃおう」という声かけから反撃の始まりです。多くの子は怖がって逃げるのに精一杯でしたが、数人の子が「豆」を鬼目がけて投げつけました。反撃が効いたのか、しばらくすると「鬼」がお部屋から出て行き子ども達もホッとした表情になりました。

発達段階がよく分かる「豆まき」だったように感じました。**【写真】 本当の鬼のようで子ども達にとっては怖かったようですね。先生方の努力もスゴイです。**